



# 心豊かでたくましく、実践力に満ちた生徒の育成

## - おのれの力を出しきって、みんなの力を出しあって、日々心豊かにたくましく -

本年度の詫間中学校の「教育目標」です。そして、この目標を達成するために、下の3つを学校経営の方針として取り組んでまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

### ■ 確かな学力づくり

基礎的・基本的内容の定着 集中して取り組む教科学習 自主的な家庭学習の推進  
規律とけじめのある授業の推進

### ■ 思いやりあふれる心づくり

人権同和教育の充実 道徳教育の充実 互いを思い合う心の育成 正義が貫ける集団づくり

### ■ 活力あふれる体力づくり

規則正しい生活リズムの確立 栄養のバランスがとれた食生活の定着  
切磋琢磨できる心身の育成 体育の時間・部活動の充実

## 学校教育と家庭教育のコラボレーション

「コラボレーション」とは、共に働く、協力するという意味で、競演、合作、共同作業などを指す言葉です。しかし、今日では、音楽や漫画などの著作物に限らず、企業同士、ブランドと雑誌、ショップの共同企画など、あらゆる分野でこの言葉が使われるようになってきました。

教育の分野においても、学校と家庭、地域のコラボレーションが大切な時代になってきました。学校生活では、35名の職員（裏面参照）が一丸となって学校教育に全力を尽くしますが、311名の生徒たちを教育していくには限界があります。ぜひとも、家庭や地域の教育力が必要なのです。

このことについて、アメリカのオバマ大統領も、施設方針演説の中で、次のように述べています。

グローバル化した経済では、知識こそがもっとも価値ある技能であり、良い教育は、もはや機会への糸口ではなく、必須条件となっている。今日我々より良質の教育を実施する国は、明日我々を負かす。この政権の目標は、すべての子どもに、生まれた日から職に就くまで、完全かつ競争力のある教育を与えることだ。既に今回の景気対策法に、教育への歴史的な投資を盛り込んだ。

私は、すべての米国人に、最低でも1年以上を高等教育や職業訓練に費やすように求める。全員が高卒以上を目指すべきだ。中退はもはや選択肢ではない。自らを放棄するだけでなく、我が国を放棄することになるからだ。これからの教育施策は機会を創出するが、子どもたちにこの機会をくぐらせるのは我々（親）の仕事だ。子どもたちの教育への責任は家庭で始まらなければならないと言う時、私は大統領としてだけでなく、父親として語っている。

そして最後は、「教育は家庭から始まる。夕食後に宿題を手伝い、テレビを消して、ビデオゲームを片付けて、子どもたちに本を読み聞かせてやる。そういう父母に代わる教育課程や政策はない」と結んでいます。

学校においても、生徒たちの言動に耳を傾け、心を傾け、生徒との触れあいを大切にしながら、そこで見つけた生徒たちのよさや成長、あるいは問題点などの情報をできるだけ早くお伝えしたいと思っています。多くの情報を学校と家庭で共有することこそが、学校と家庭の連携の第一歩です。よろしくお願い致します。

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ お知らせ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

これまで、学校通信「うらしま」を発行してまいりましたが、本年度から「浦島伝説」とリニューアルしました。詫間中学校を中心に、学校、家庭、地域が一体となって新たな伝説を創っていきたく思います。発行が遅くなったことをご詫言つするとともに、今後はできるだけ新鮮な情報としてお伝えできるよう約束いたします。なお、生徒の写真等を掲載する際、著作権・肖像権を侵害することのないよう留意しますが、承諾できない方はご連絡ください。